

地質地盤および 地圏環境に関する 最近の成果

産技連・地質関係合同研究会

日時: 2012年12月6日(木) 10:00~17:00
会場: ホテル福島グリーンパレス(JR福島駅前)

プログラム

主催者挨拶

矢野雄策 (産総研 地質分野副研究統括)
「産総研地質分野の研究と産技連の活動」

記念講演

川越清樹 (福島大学 共生システム理工学類)
「東日本大震災に伴う諸災害と今後の展開」

中西準子 (産総研 フェロー)
「放射線リスクとどう向き合うか」

地質地盤情報分科会関連講演

佐藤 努 (産総研 地質情報研究部門)
「地震後いわき市で湧き出した温泉とその意味」

澤井祐紀 (産総研 活断層・地震研究センター)
「堆積物の記録から明らかにする日本海溝の巨大地震」

北田奈緒子 (地域地盤環境研究所)
「関西地盤情報協議会の活動の紹介」

大津 直 (北海道立総合研究機構 地質研究所)
「北海道における地盤ボーリングデータベース構築の現状と課題」

地圏環境分科会関連講演

特別講演 佐藤睦人 (福島県農業総合センター)
「福島県農業総合センターにおける放射性物質に対する研究」

保高徹生 (産総研 地圏資源環境研究部門)
「福島県内の放射性物質モニタリングと土壌環境調査」

丸井敦尚 (産総研 地圏資源環境研究部門)
「広域地下水流動シミュレーションによる地下水汚染評価」

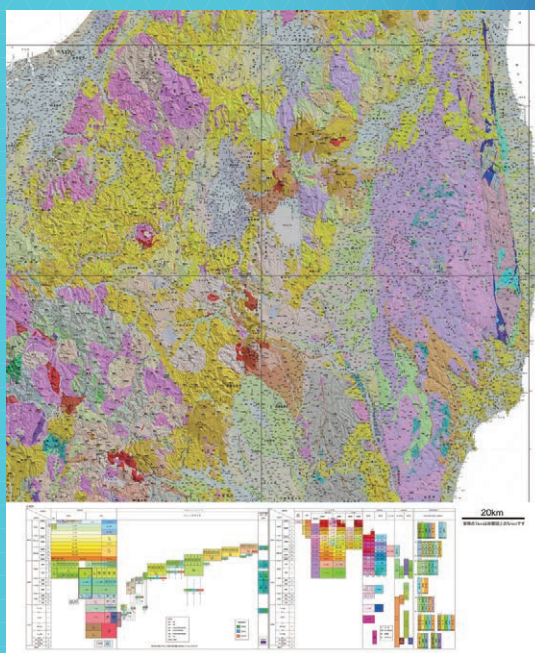
閉会に当たって

景山 晃 (産総研 上席イノベーションコーディネータ)
「産総研の除染技術プロジェクトの現状と産技連との連携」

<デモ・パネル展示もあります>

開催趣旨

平成23年3月11日の地震・津波災害により日本が世界有数の変動帯であり、そのための十分な備えが必要であることを改めて強く認識させられました。地質地盤・地圏環境・地震防災に関する科学的根拠、原発事故による放射線リスクに関する知識は、人々の安全・安心な生活・社会活動にとって重要な基本情報であり社会全体が理解を深めることが必須です。このような観点から、産技連の地質関係分科会は「地質地盤および地圏環境に関する最近の成果」と題して合同研究会を開催します。



主催

産業技術連携推進会議
知的基盤部会地質地盤情報分科会
環境・エネルギー部会地圏環境分科会
産総研地質調査総合センター

後援

全国地質調査業協会連合会

日時: 2012年12月6日(木) 10:00~17:00
会場: ホテル福島グリーンパレス (JR福島駅前)

参加費: 無料

参加お申し込み: 地質調査総合センター HP のイベント情報から
お申し込みください

<http://www.gs.j.jp/HomePageJP.html>